

学びのストーリー（単元の流れ）

授業デザイン

評価規準／評価方法

**1次** あきを 見つけにいきたい！

◎秋の自然の特徴に気付き、秋の自然を楽しむ  
 ・きれいなどんぐり、かわいい ・バッタが上手に隠れてるね  
 ・大きな葉っぱだ、お面にできそう

**2次** 見つけたあきで あそびたい！

◎特徴を生かして、楽しい遊びを創り出す  
 ・どんなのを見つけたか見せ合いっこしようよ  
 ・どんぐりで遊びたい！ ・どんぐりコマを作りたい！

見つけた あきで つくりたい！

◎集めた木の実や葉で遊びに使うものを工夫して作る  
 ・家でもどんぐりや葉っぱを拾ってきたよ ・人形が作りたいな  
 ・ピタゴラススイッチが作りたい！  
 ・作ったものをみんなに見せたい ・みんなで一緒に遊びたい！

**3次** あきの たのしさを つたえたい！

◎秋の楽しさを誰にどのように伝えたいか考える  
 ・おもちゃランドに招待してくれたから、2年生を招待したい  
 ・優しいし大好きだしお礼もしたいし、6年生を招待したいな  
 ・お兄ちゃんやお姉ちゃんがいるから、5年生を招待したいな  
 ・全員招待したい→この部屋（教室）で足りる？  
 ・1年生のことが分かるから、保育園や幼稚園の子を招待したい  
 ・1年2組とも遊びたいな  
 ・全員だと場所が足りないよ。違う部屋も使う？  
 ・体育館？→体育があるよ 外？みんなの教室？多目的ホールがいいんじゃない？  
 ・多数決で決めよう！  
 ・6年生はちゃんと授業やっているから、休み時間がいいね  
 ・中休み？→短いよ さくらいタイムにすれば長いよ  
 ・さくらいタイムにすれば長いよ ・さくらいタイムと中休みの両方よろうよ ・別の日によろうよ

あきの おまつりパーティーを ひらきたい！

◎6年生が喜んでくれるようにお祭りの準備をする  
 ・名前を決めよう  
 ・おみこしがあるんだから、お祭りにしよう。  
 ・勝手にさくらいタイムにしたらだめだから、校長先生にお願いしに行こう。  
 ・6年生に楽しんでほしい。うれしくなって喜んでほしい。  
 ・屋台の準備をどうする？  
 ・看板もあるといいよね  
 ・招待状を書こうよ  
 ・2年生がくれた招待状みたいに一人ひとりに書きたい！  
 ・もっと準備の時間がほしい

1ねん2くみを 楽しませたい！

◎1年2組とあきのおもちゃで楽しく遊ぶ  
 ・「わっしょい」ってみんなで言って盛り上げたらいいと思う  
 ・えっさほいや、ソーランみたいな祭りっぽい曲をかけたいな  
 ・「ここ空いてるよ～」って言えばいいんじゃないかな

（本時）6ねん生を すごく楽しませたい！

◎前回の反省を生かしたお祭りの開き方を考える  
 ・掃除がすごく大変だった。葉っぱとか箱に入れた方がいい  
 ・もっと曲を大きくかけて盛り上げよう  
 ・6年生にありがとうの気持ちを伝える看板を作りたい

あきの おまつりパーティーを ひらこう！（昼休み）

◎前回の良さや反省を生かして、お祭りをひらく。

**4次** なにを かんじたかな？

◎今までの学習を振り返り、自分の成長に気付く。

**手立てや概念**  
 みどりの広場での秋の生き物探し、城北中学校でのどんぐり拾い、本校でのどんぐり拾いや葉っぱ拾い、諏訪の原公園での秋の校外学習、あさがおのリースづくりなど、秋に触れる共通体験を様々に設定し、全員が秋を感じられるようにする。

**自己調整**  
 自分が作りたいあきのおもちゃについて、教科書を見たり、家の人と相談したりして情報を集め、準備していけるようにする。

**手立てや概念**  
 廊下や教室の環境づくりをして、生活の中に自然や季節があることの心地よさや快適さを感じられるようにしていく。また、休み時間に中庭や校庭へ出て、秋探しを楽しみ、身近な自然の美しさを味わえるようにする。

**自己調整**  
 自分だけでなく、みんなで楽しむための工夫を考えていけるようにする。

**手立てや概念**  
 国語科や他教科とも関連させて、紹介状の書き方を考えたり、話し合いの仕方を学習したりしていく。

**手立てや概念**  
 2年生に招待してもらったおもちゃランドでの楽しい経験を想起させたり、教科書の挿絵を用いたりして秋の楽しさを伝えるイメージをもたせる。

**響き合う**  
 活動が自己満足で終わらないよう、あきのおまつりパーティーを開いて6年生にどんな気持ちになってほしいのか、クラスのめあての話し合いをさせ、一人一人のめあてももたせる。

**響き合う**  
 相手意識をもつ大切さを繰り返し伝えることで、話し合いの中から「～したら6年生が喜ぶ」「～すれば6年生が楽しい」などの言葉を引き出す。そして、その後の中休みの部の準備への思いにつなげる。

**自己調整**  
 適宜振り返りカードや話し合い活動を取り入れ、無自覚だった自分の気付きを自分の中で明確にできるようにする。

**手立てや概念**  
 子供たちの意見を整理して板書し、より良いお祭りになる方法を考えさせる。

**高め合う**  
 学習時間と相手意識をもちながら、何ができるか話し合う。自分たちで決定し、目当てに向かってやり遂げるようにする。

**高め合う**  
 2年生のおもちゃランド、自分たちだけのおまつりパーティー、1年2組を招いたり招かれたりする体験を通して、気付いたことや考えたことを生かし、自分たちのおまつりパーティーをひらく。

【知識・技能】

- ・秋の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、自然の様子や季節の変化、季節によって生活の様子が変わること、自然遊びのおもしろさや自然の不思議さ、野原や公園のルールやマナーを守って遊ぶことに気付いている。

【思考・判断・表現】

- ・秋の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、秋の特徴やほかの季節との違いを見つけ、遊びや遊びに使うものを工夫して作っている。

【学びに向かう力・人間性】

- ・秋の自然の中で遊んだり自然物を使って遊んだりする活動を通して、季節を生活に取り入れ、みんなと遊びを創り出そうとしている。

願う子どもの姿

- ・季節の美しさ、自然の美しさを肌で感じながら、自分が見つけた秋で夢中になって作ったり遊んだりする姿。
- ・相手意識をもちながら、よりよいお祭りにはどうしたらいいか考え、準備する姿。
- ・マナーやルールを守って、来てくれた6年生に積極的に関わり、一緒に楽しむ姿。